

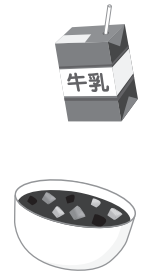
## 学校給食を試食

文教福祉委員会では6月19日、常任委員会終了後、愛西市学校給食センターに移動して学校給食を試食しました。

長谷川所長からは、6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」で、愛知県では6月19日を「愛知を食べる学校給食の日」と定め地元食材を使った献立となっているとの説明がありました。

この日の献立はカレー、ご飯、牛乳、トマトゼリーで、ご飯は愛知県産「あいちのかおり」、愛知県産の牛乳、愛知県産トマトが原料のゼリー、カレーに使う「なす」は愛西市の立田地区で作られた千両なす、「たまねぎ」は知多産、「にんじん」は西三河産が入っているなど地元の食材を使っているとのことでした。

また、委員からは、「愛西市にはアレルギー食の生徒が何人いますか。判断の基準は何ですか。」との質問に対して、所長から「48名の生徒がアレルギー食で対応しています。学校給食センターでは医者の処方箋で判断し十分な配慮と対応をしています。」との説明でした。



今回の学校給食の試食では子どもたちに届けられる給食の味や量と栄養バランスを確かめることができ、食育の知識や学校給食への理解を深めることができた有意義な時間となりました。

今回の学校給食の試食では子どもたちに届けられる給食の味や量と栄養バランスを確かめることができ、食育の知識や学校給食への理解を深めることができた有意義な時間となりました。

## 議会活性化協議会からの報告

5月8日開催の第24回議会活性化協議会において、政務活動費と議員定数について各会派の意見を出し合い協議しました。

### 政務活動費

**結果** 現在同様支給しない

**経過** 月額1万円をベースに作成された条例案及び運用指針案を元に協議を行いました。

運用指針については、収支報告や領収書添付等不正が起らないように詳細な運用部分にまで踏み込んだ内容であったため、市民への議会の透明性の確保といった考えなどから、異論は出ませんでした。

支給を開始するかどうかについては、さまざまな意見が出ました。

多数の意見としては、市民から批判をあげないよう厳格な運用をすることや、議員の活動を市民により見える形にしていくなが必要というもので、議会活動の活性化の観点からも支給には賛成するものでした。

少数の意見としては、どれも賛成ではありませんが、政務活動費の支給開始に条件を付けたもので、現在の議員報酬の額が適正かどうかを、報酬審議会

に掛けるべきといった意見や、政務活動費の導入条件として、報酬を削減すべきといった内容でした。

当初から、全会一致でなければ行わないものとして協議してきたため、条件付きの賛成では全会一致には当たらないとして、政務活動費の支給は今まで通り行わないことになりました。

### 議員定数

**結果** 全員の賛同得られず

**経過** 多数の意見としては、市の財政が厳しい状況の中、議会費も削減に取り組むことが必要といったものや、愛西市は現在若者がたくさん立候補してくれる状況でもなく、定数を減らすべきなどの意見でした。

少数の意見としては、定数の削減は少数派の弱者意見が反映されにくくなるため、定数は現状の20名を維持し、議員報酬を削減するべきなどの意見でした。

定数を18名に削減する意見が多数でしたが、全員の賛同は得られませんでした。